

2013 年度 中央大学特定課題研究費 ー 研究報告書 ー

所属	経済学部	身分	准教授
氏名	森岡 実穂		
NAME	Miho Morioka		

1. 研究課題

(和文) シェイクスピアを原作とするオペラ作品の現代上演について

(英文) Analysis of modern productions of opera adapted of Shakespearean plays

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文) 現在上演されているオペラの中でも、優れた普遍性を持つシェイクスピアの戯曲を原作とする作品は多い。それらの作品が現代的な再解釈を経て、どのように同時代の社会とつながる作品として再生しているかを、2013/14、2014/15 シーズンに国内外で上演された優れた上演を通して検証したいというのが今回の研究目的である。

この二年間で鑑賞することができた主要な作品は、ヴェルディ《マクベス》(コンヴィチューニ演出)、《オテロ》(ビエイト演出、オールデン演出)、アデス《テンペスト》(K・ウォーナー演出)、トマ《ハムレット》(ビィ演出)、ライマン《リア》(栗山民也演出)、細川俊夫《リアの物語》(ヴェジェッティ演出) などである。

特にライマン《リア》については日生劇場での上演に際し、事前の作品紹介シンポジウム・上演後の検討シンポジウムにも登壇し、作品の周知・受容のために貢献した。映像を元にした上演史についてまとめをドイツ文化センターで紹介し、『中央評論』連載で批評も掲載した。この《リア》および細川俊夫《リアの物語》上演をもとに、シェイクスピアの『リア王』が19世紀のオペラでの翻案→20~21世紀の演出による再解釈を通して、どのような側面に光をあてられ現代とつながる作品として再生されているかについて、特にジェンダー・ポリティックスの視点に注目して論文をまとめ、中央大学『英語英米文学』誌上で発表したい。

(英文) After seeing many Shakespearean opera stages such as OTELLO, HAMLET, and MACBETH, I am going to choose two operatic adaptations of KING LEAR as my research materials; I would like to write an analytical essay on how this Shakespearean masterpiece has been reconsidered and reconstructed in several modern productions of its opera versions, Aliberto Reimann's LEAR Toshio Hosokawa's VISION OF LEAR, especially in terms with gender politics in our own era.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>「ライマン《リア》および細川俊夫《リアの物語》の諸演出における家父長制社会へのまなざし」（中央大学英語英米文学会編『英語英米文学』第56号（2016年春発行）掲載予定）</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p>